

建築工事特記仕様書

I. 工事概要

1. 工 事 名

六郎丸地区配水塔 緊急遮断弁室築造工事

2. 工事場所

富山県魚津市六郎丸 地内

3. 敷地面積

m²

4. 地域・地区の指定

5. 建物概要

構 名 称	構 造 ・ 階 数	延 面 積 (m ²)	備 考
緊急遮断弁室	コンクリート造 地下1階地上1階	A=67.69㎡	

6. 構造計算概要

1) 積雪荷重

- 最深積雪量 単位重量 合計
 - (150) cm÷(30) N/m²/cm= (4500) N/m²
- 屋根勾配による積雪量の低減 ・有 ・無
- 特殊荷重 ・無 ○有
 - 機械名及び荷重 (電気圧:1.3t)
 - (遮断弁:3.4t)

7. 別途工事 工事

II. 建築工事仕様

1. 図面及び特記仕様に明記がない事項は、すべて国土交通大臣官庁官庁管轄部監修 公共建築工事標準仕様書（平成25年版）および建築木造工事標準仕様書（平成22年版）・公共建築改修工事標準仕様書（平成25年版）による。

2. 特記仕様

1) 項目は、番号に○印のついたものを適用する。

2) 特記事項は○印のついたものを適用する。○印がつかない場合は、※印のついたものを適用する。○印と◎印のついた場合は、共に適用する。

3) 特記事項に記載の（ ）内表示番号は、建築工事標準仕様書の当該項目、当該図または当該表を示す。

3. 資格者の配置
今回の工事を着手する際には、元請負業者又は下請負業者の中で1級建築施工管理技士を専任として配置すること。

章 項 目	特 記 事 項																																																																																	
1. 一般共通通事項	① 適用基準等 ※建築工事標準詳細図（国土交通大臣官庁官庁管轄部監修 平成22年版） ・耐震診断基準、改修設計指針 解説図（国土交通省住宅局建築指導課監修） 2. 発生材の処理 ・引き渡しを要するもの (I.3.8) ・指定副産物の搬出 <table><thead><tr><th>種 類</th><th>受入れ施設名</th><th>受入れ場所</th><th>仮置場所</th><th>備 考</th></tr></thead><tbody><tr><td>・ﾌﾗｯｸﾄﾘﾝｸﾞ材</td><td></td><td></td><td></td><td>搬出調査等を提出する。</td></tr><tr><td>・ﾎﾟﾘｼﾝｸﾞ材</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>・建設発生材</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table> ・指定副産物以外の搬出 ※現場搬出適切処理 ※現場説明書による ③ 施工条件 ※現場説明書による (I.3.5) ④ 概成工期 ※現場説明書による (I.2.1) 5. 電気保安技術者 ※適用しない (I.3.3) ⑥ 技能士 下記の通用工事種別中○印のついたものは適用する。○印のついてないものは適用するよう努力する。(I.5.2) 適用工事種別 鉄筋工事（※鉄筋施工） コンクリート工事（○型枠施工） 鉄骨工事（・トイ ブロック工事（・ブロック建築） 防水工事（防水施工（・ウレタン防水工事作業 ・合成ゴムシート防水工事作業 ○シート系防水工事作業 ○シリｰﾝ防水工事作業） 石工事（・石材施工（ ） タイル工事（・タイル張り） 木工事（・建築大工） 屋根及び土工事（・建築塗装） 金属工事（・内装仕上げ施工（鋼板下地工事作業） 左官工事（・左官） 建具製作（・木製建具製作） 建具工事（○サッシ施工（ ）のガラス施工） 塗装工事（・塗膜仕上げ工程 ・プラスチック系床仕上げ工事作業 ・ボード仕上げ工事作業・表装） 補綴工事（・造園） 瓦葺き（・瓦葺き） ⑦ 建築材料等 通制包装はない。 本工事に使用する建築材料等は、設計図書に規定するものとされこれらと同等以上のものとする。 ただし、同等以上とする場合は、監督職員の承認を受ける。 ⑧ 特別な材料の工法 建築工事共通仕様書に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法による。 ⑨ 事務処理 県営繕工事監督事務処理要領（ 県土木部営繕課制定）による。 また、工事実績情報の登録対象（請求金額 2,500万円以上）になった場合には速やかに登録する。(I.1.4) ⑩ 施工図等の取扱い 施工図の著作権に係わる当該建築物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。 ⑪ 技術検査 監督職員の指示による。(I.6.2) 12. 仮設等の実施 監督職員の指示による。(7.3.9) ⑬ 自主管理 ・監督職員の指示する工程については、請負者の自主管理とし、その管理手法を施工計画書に記載して承認を得ること。 なおISO9000シリーズ（JIS Z9900シリーズ） ISO14000シリーズ（JIS Q14000シリーズ）の規格取得者は、その旨を施工計画書に記載すること。 ⑭ 建設機械 下記の※のついた建設機械については「排出ガスを対策型建設機械指定要綱」（建設省）の指定機械を使用するよう努力する。 ※ブルドーザー ※バックホウ ※トラクタショベル ※ダンブラック ※クレーン ・舗設機械 ※空気圧掘削 ※発電機 ・溶接機 ⑮ 工事写真 なお、表中サービス版写真についてはデジタルカメラ等の電子媒体によるもの(640×480以上)でも可とする。 <table><thead><tr><th>撮影時間</th><th>分類・規格</th><th>撮影枚数</th><th>提出回数</th><th>原稿の大きさ(mm)</th><th>備 考</th></tr></thead><tbody><tr><td>着 工 前</td><td>ｶﾞｰﾃﾞﾆﾝｸﾞ判等</td><td>必要枚数</td><td>1部</td><td rowspan="2">24×36以上</td><td rowspan="2">特'は請負業者保管 (5年間)</td></tr><tr><td>施 工 中</td><td>ｶﾞｰﾃﾞﾆﾝｸﾞ判等</td><td>必要枚数</td><td>1部</td></tr><tr><td rowspan="2">完 成 時</td><td>ｶﾞｰﾃﾞﾆﾝｸﾞ判等</td><td>必要枚数</td><td>1部</td><td rowspan="2">55×82以上</td><td rowspan="2">縦(39×33mm)に収納 1280×1024 以上</td></tr><tr><td>ｶﾞｰｲﾝｽﾞ切判</td><td>1枚</td><td>※1部 ・ 部</td></tr><tr><td></td><td>Pｵｰﾀﾞ切判</td><td>必要枚数</td><td>※1部 ・ 部</td><td></td><td></td></tr></tbody></table> ⑯ 竣功図書 建築図面作成要領等（ 土木部営繕課制定）により下記の通り提出する。 <table><thead><tr><th>種類</th><th>ファイル</th><th>縮小図(A3)</th><th>原 図</th><th>提出時期</th></tr></thead><tbody><tr><td>区分</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>・構造計算書</td><td>一式</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>※変更設計図</td><td></td><td>製本1部</td><td>1部</td><td>設計変更時</td></tr><tr><td>※完 成 図</td><td></td><td>製本2部</td><td>1部</td><td>完 成 時</td></tr><tr><td>※保全資料</td><td>一式</td><td></td><td></td><td>完 成 時</td></tr></tbody></table> ⑰ 設計図のコピー ※設計図の青焼き(A-1判)を 2 部制作する。（内 2 部を製本し提出する） ※縮小図の白焼き(A-3判)を 2 部製本し提出する。 ⑱ 設計地盤高 ・図示 ・前面道路中心 ※監督職員の指示による。 ⑲ 責任施工 特記事項中、責任意施工の指示あるものは請負人及び専門事業者（防水工事においては所属する組合又は材料メーカーを加える）の連帯責任とし、保証書を提出する。 20. 特定元方事業者の指名 本工事の請負者を労働安全衛生法第30条第2項に基づく特定元方事業者に指名する。 ㉑ 設備工事との取合い 設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承認を受ける。 ・ 方法、日時等監督職員と充分に協議する事。(I.3.6) ㉒ 品質管理 建築基準法、労働安全衛生法、その他関係法令等の定めるところによる。(I.3.7) ㉓ 施工中の安全確保 建築基準法、労働安全衛生法等に基づいて、災害の予防に努める。 工事材料、土砂等の搬送計画及び通行路路の選定その他車両の通行に関する事項について、関係機関と(I.3.9)十分打合せのうえ、交通安全管理を行う。 ㉔ 交通安全管理	種 類	受入れ施設名	受入れ場所	仮置場所	備 考	・ﾌﾗｯｸﾄﾘﾝｸﾞ材				搬出調査等を提出する。	・ﾎﾟﾘｼﾝｸﾞ材					・建設発生材					撮影時間	分類・規格	撮影枚数	提出回数	原稿の大きさ(mm)	備 考	着 工 前	ｶﾞｰﾃﾞﾆﾝｸﾞ判等	必要枚数	1部	24×36以上	特'は請負業者保管 (5年間)	施 工 中	ｶﾞｰﾃﾞﾆﾝｸﾞ判等	必要枚数	1部	完 成 時	ｶﾞｰﾃﾞﾆﾝｸﾞ判等	必要枚数	1部	55×82以上	縦(39×33mm)に収納 1280×1024 以上	ｶﾞｰｲﾝｽﾞ切判	1枚	※1部 ・ 部		Pｵｰﾀﾞ切判	必要枚数	※1部 ・ 部			種類	ファイル	縮小図(A3)	原 図	提出時期	区分					・構造計算書	一式				※変更設計図		製本1部	1部	設計変更時	※完 成 図		製本2部	1部	完 成 時	※保全資料	一式			完 成 時
種 類	受入れ施設名	受入れ場所	仮置場所	備 考																																																																														
・ﾌﾗｯｸﾄﾘﾝｸﾞ材				搬出調査等を提出する。																																																																														
・ﾎﾟﾘｼﾝｸﾞ材																																																																																		
・建設発生材																																																																																		
撮影時間	分類・規格	撮影枚数	提出回数	原稿の大きさ(mm)	備 考																																																																													
着 工 前	ｶﾞｰﾃﾞﾆﾝｸﾞ判等	必要枚数	1部	24×36以上	特'は請負業者保管 (5年間)																																																																													
施 工 中	ｶﾞｰﾃﾞﾆﾝｸﾞ判等	必要枚数	1部																																																																															
完 成 時	ｶﾞｰﾃﾞﾆﾝｸﾞ判等	必要枚数	1部	55×82以上	縦(39×33mm)に収納 1280×1024 以上																																																																													
	ｶﾞｰｲﾝｽﾞ切判	1枚	※1部 ・ 部																																																																															
	Pｵｰﾀﾞ切判	必要枚数	※1部 ・ 部																																																																															
種類	ファイル	縮小図(A3)	原 図	提出時期																																																																														
区分																																																																																		
・構造計算書	一式																																																																																	
※変更設計図		製本1部	1部	設計変更時																																																																														
※完 成 図		製本2部	1部	完 成 時																																																																														
※保全資料	一式			完 成 時																																																																														

2・仮設工事

1. 監督員事務所

規模 ※設ける（・1号・2号・） ※設けない

(2.3.1)(表2.3.1)

2. 工事用水

構内既存施設 ・利用できる（※有償・無償） ※利用できない

3. 工事電力

構内既存施設 ・利用できる（※有償・無償） ※利用できない

3・土工事

① 埋戻し及び盛土の種類

・A種 ※B種 ・C種 ・D種

(3.2.3)(表3.2.1)

② 建設発生土の処理

※構外搬出適切な処理
・構内指示の場所にて敷きならし
・構内指示の場所にて焼却
・構外指示の場所にて処分

(3.2.5)

3. 土工事

① 埋戻し及び盛土の種類

・A種 ※B種 ・C種 ・D種

(3.2.3)(表3.2.1)

② 建設発生土の処理

※構外搬出適切な処理
・構内指示の場所にて敷きならし
・構内指示の場所にて焼却
・構外指示の場所にて処分

(3.2.5)

4・地盤工事

1. 試験杭

杭の本数 ※ ・セット
杭の長さ ※
杭の位置 ※監督職員の指示する位置 ・図示
杭の種類等

(4.1.1)(4.5.1)

2. 既設コンクリート杭地業

(4.3.2)

3. 鋼管杭

先端羽付鋼管杭 (φ267.4)

(4.3.3)

4. 地盤改良

工法
・打込み工法
・打撃工法 杭打機 油圧ハンマー ・ディーゼルハンマー
・プレローピング併用打撃工法

(4.3.3)

5. 砂利地業

厚さ(mm) ※60
厚さ(mm) ※50

・ 図示による ※材料は再生クラックツシャラン

(4.6.3)

6. 均しコンクリート

厚さ(mm) ※50

・ 図示による ※材料は再生クラックツシャラン

(4.6.5)

7. 床下防湿層

防湿層の適用及び範囲 ○適用する
※適用しない

(4.6.6)

5・鉄骨工事

① 鉄筋の種類

種 別 呼び径 (mm)
異形鉄筋 ○SD295A D10-D13-D16
○SD345 D19-D22-D25

(5.2.1)

② 鉄筋の継手

接 合 方 法 径 (mm)
○重ね 継 手 D10-D13-D16
○ガス 圧 接 ※呼び径18mm以上の主筋

(5.3.4)

③ 耐久性上不利な箇所の鉄筋のかぶり厚さ

施工箇所等 表5.3.6に定める寸法 (mm)
※柱、梁、壁、応などの外気に接する打抜き面 ※10

(5.3.5)

4. 杭頭補強の方法

既設コンクリート杭 ・A形 ※B形
※行う ・行わない

別図(1.1)

⑤ 最上階柱頭補強

一般壁 ※A形 ・B形 ○図示
耐震壁 ※B形 ・M形

別図(4.2)(表4-3)

7. 変異孔の補強

補強形状 ・H形 ・M形
・評価名簿による。

別図(7.1)

⑧ 圧接完了後の検査

検査方法 ・引張試験 ※超音波探傷試験

(5.4.9)(5.4.10)

6・コンクリート工事

① 設計基準強度

普通コンクリート

F0(N/mm²)

施工箇所

※21 躯体
□18 無筋コンクリート、格コンクリート

(6.1.4)

② 構造体コンクリートの強度

・ F_{cd} = F₀ + 温度補正 (3N又は6N/mm²)

(6.1.3)

2. コンクリートの種類

種類 適用箇所
・マスコンクリート
・無筋コンクリート ・図示
・高い強度のコンクリート
・流動化コンクリート

(6.1.3)(6.1.4)(6.1.5)(6.1.6)

③ レディーミクストコンクリート

種類 ※I類 ・II類

(6.1.5)(表6.1.1)

④ セメント

種類 ※普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種
・高炉セメントB種
普通ポルトランドセメントの品質は、JISR5210に示された規定の他、次の規定に適合しなければならない。
ただし、無筋コンクリートに用いる場合を除く。

(6.3.2)

⑤ 砕石・砂利

砕石・砂の種類

※A (※コンクリート中のアルカリ総量R=3.0g/kg以下)
・フェノキッカルスラグ断骨材

(6.3.3)(6.5.4)

⑥ 混和材料の種類

※混和剤 ・混和材 ・無収縮混和材

(6.3.5)

⑦ 普通コンクリートの気乾単位容積質量

※2.2以上

(6.2.2)

⑧ 気乾によるコンクリート強度の補正値及び暑中コンクリート

普通ポルトランドセメント、混合セメントのA種
コンクリート強度の補正期間
標準仕様書6.4.5及び表6.4.1による

(表6.4.1)(6.4.5~6.8.4)(6.12)

9・石工事

① 天然石張り

新付、形状、寸法、目地形状 ※図示による。 石の品質 床用石材 ※2等品
壁及びその他の石材 ※1等品
石の種類・表面仕上げ (表10.2.1)(表10.2.2)

(10.2.1)(10.2.2)

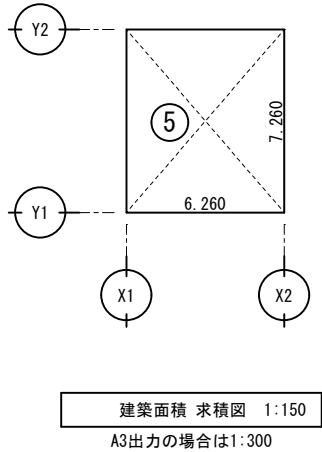
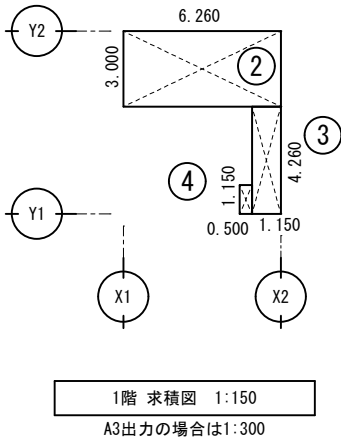
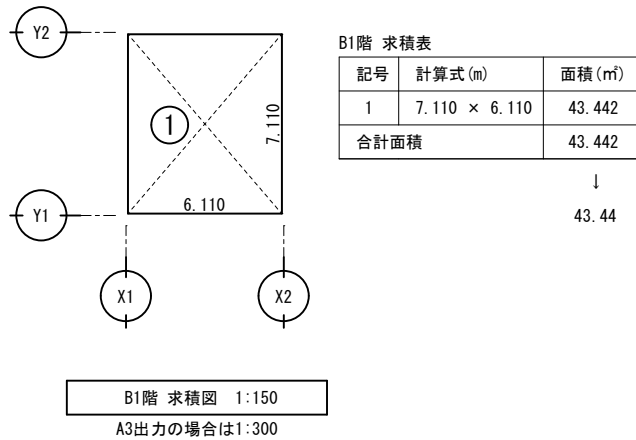
② 陶磁器質タイル

施工箇所 形状寸法 き せ じ 釉薬 役 物 色 備 考
段鼻 150×60 ○ ・

外部仕上表										
場 所		下 地	仕 上	場 所	下 地	仕 上	場 所		下 地	仕 上
屋根	コンクリート金ゴテ押入 水勾配100(増打による勾配)	塩ビ系シート防水 (S-M2)	外壁	C	打放シ(B) 増打20 防水型複層塗材 (RE)	ボーチ	床	C	コンクリート金ゴテ	
			外部巾木	C	打放シ(B) 増打20 H=400		側面	C	コンクリート打放し	
バレーツ笠木	C	塩ビシート防水端部納まり	外部建具		アルミサッシ： (B-2) AD：アルミ (B-2)		先端 ノンスリップ		ノンスリップ 磁器タイル 150×60	
			ドア上庇	C	天端、先端、側面、下端共 打放シ(B) 増打20 防水型複層塗材 (RE) 下端水切目地：15×15					
軒先	C	打放シ(B) 増打20 防水型複層塗材 (RE)								
軒裏	C	打放シ(C) 増打20 防水型複層塗材 (RE)	地下外壁	C	打放シ(B) 浸透性塗布防水					
樋、ルーフトレーン		縦樋：塩ビ75φ 据金物sus～@1000 ドレーン：sus製75φ用×2ヶ所								

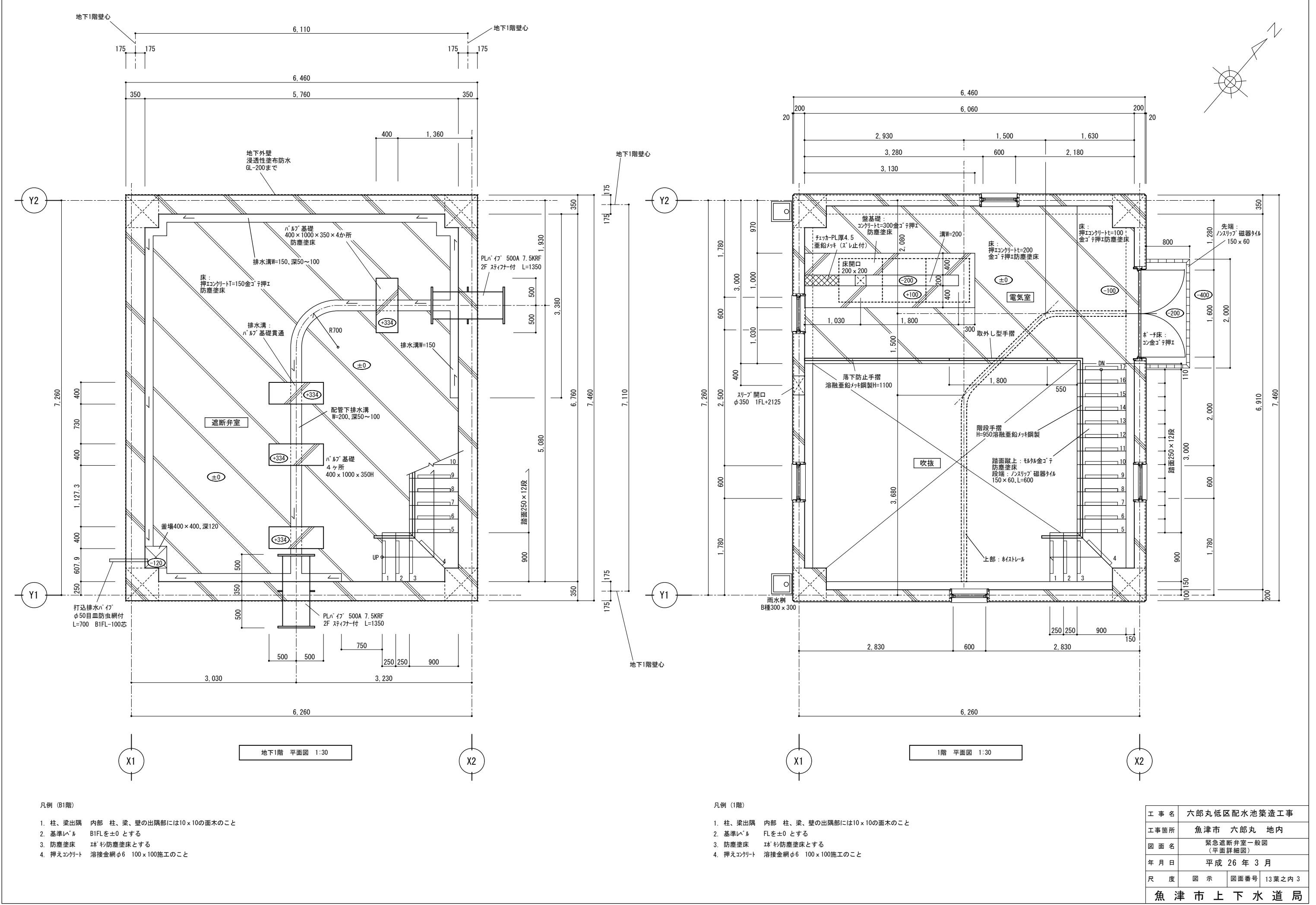
内部仕上表																	
階	室名	床		巾木			壁		天 井		柱、梁型		造 作 材		カーテン ブラインド等		備 考
		下 地	仕 上	下 地	仕 上	H	下 地	仕 上	下 地	仕 上	柱	梁	開口枠 サッシ額縁	廻 縁	ボックス	カーテン	
1 階	電気室	押コンクリート	金ゴテ押入 防塵塗床	C、打放シ(B)	防塵塗床 標準詳細 2-11-8	100	C、打放シ(B)	内装用薄塗材(E) 標準詳細 2-02-8	C+PF板t=25打込	内装用薄塗材(E) 標準詳細 7-01-2	壁と同	壁と同	7mm額縁				制御盤基礎： 天端、側面共：防塵塗床 配線ビッド：チェッカープレート t=4.5 溶融亜鉛メッキ W=300 L=630（取手孔加工） 落下防止手摺：溶融亜鉛メッキ鋼製H=1100 一部取外し可能式
	吹 抜						C、打放シ(B)	内装用薄塗材(E) 標準詳細 2-02-8	C+PF板t=25打込	内装用薄塗材(E) 標準詳細 7-01-2	壁と同	壁と同	7mm額縁				手動ホイス・レール共(吊荷重・W=1.5t用)
地下1 階	遮断弁室	押コンクリート	金ゴテ押入 防塵塗床	C	打放シ(B) 防塵塗床 標準詳細 2-11-8	100	C	打放シ(B) 標準詳細 2-02-8	C	打放シ(C) 標準詳細 3-01-11	壁と同	壁と同	モルタル金ゴテ				ポンプその他機械基礎： 天端、側面共 防塵塗床 排水溝、釜場： 底面、立上り共 防塵塗床 釜場：底面、立上り共 防塵塗床
	階段および 踊場部	C、モルタル	金ゴテ 防塵塗床 標準詳細 1-01-1	C	打放シ(B) 防塵塗床 標準詳細 2-11-8	100		SLより下部： 遮断弁室に準ズ SLより上部： 電気室に準ズ		電気室に準ズ							階段手摺：溶融亜鉛メッキ鋼製H=950 段先端：ノンスリップ 磁器タイル 150×60

略 号				防火認定番号				ホルムアルデヒド放散量		特記事項	
仕上記号	GWM GWB GB-R GB-P GB-S GB-D GB-W GB-F DR-T DR-凸凹 FK PF	グラスウールマット グラスウールボード 石膏ボード 吸音用穴あき石膏ボード シーツing石膏ボード 化粧石膏ボード(トランシェン) 化粧石膏ボード(木目) 強化石膏ボード ロックウール化粧吸音板(トランシェン) ロックウール化粧吸音板(リブ) 無石綿セメント珪酸カルシウム板 ポリスチレンフォーム保温板	下地記号 W LGS SW C M	木造下地 軽量鉄骨天井下地 軽量鉄骨壁下地 コンクリート下地 モルタル下地	塗装記号 SOP MRP CL FE VE AE 2-UE 2-FUE EP G-EP T-EP MP UC OS DP	合成樹脂調合ペイント塗り マリンペイント クリフロッカー塗り フタル酸樹脂エマル塗り 塩化ビニル樹脂エマル塗り アクリル樹脂エマル塗り 2液型エポキシ樹脂エマル塗り 常温乾燥形ふっ素樹脂エマル塗り 合成樹脂エマルションペイント塗り つや有り合成樹脂エマルションペイント塗り 合成樹脂エマルション模様塗料塗り 多彩模様塗料塗り ウレタン樹脂ワニス塗り 油性スチン塗り 耐候性塗料塗り	t12.5GB-R:石膏ボード 不燃NM-8619 t12.5GB-S:シーツing石膏ボード 不燃NM-9346 t9.5GB-D:化粧石膏ボード 準不燃QM-9823 t9.5GB-D(不燃):化粧石膏ボード 不燃NM-8613 t6 FK:無石綿珪酸カルシウム板 不燃NM-8578 EP塗 VE塗:不燃NM-8585 準不燃QM-9816 木毛セメント板: 準不燃QM-9701	ビニル床シート用接着剤 ビニルクロス ポリエチレン化粧合板 メラミン化粧合板 ラワン合板 コンパネ(コンクリート型枠合板) 天然木複合フローリング その他木質建材 グラスウール	F☆☆☆☆ F☆☆☆☆ F☆☆☆☆ F☆☆☆☆ F☆☆☆☆ F☆☆☆☆ F☆☆☆☆ F☆☆☆☆ F☆☆☆☆	1. 防塵塗床 2. 天井断熱材打込 3. PF板の規格 4. 押エコンクリート	エポキシ系塗床とする。 施工に際してはコンクリート/ロ等が断熱材表面に漏出しないように /ロ防止テープ等にて充分に防止する事。 B類2種とする。 溶接金網φ6 100×100施工のこと



種 別	面積 (㎡)
建築面積	45.44
B1階 床面積	43.44
1階 床面積	24.25
延床面積	67.69

工 事 名	六 郎 丸 低 区 配 水 池 築 造 工 事		
工事箇所	魚 津 市 六 郎 丸 地 内		
図 面 名	緊急遮断弁室一般図 (仕上表、面積数積図)		
年 月 日	平 成 2 6 年 3 月		
尺 度	図 示	図面番号	13葉之内 2
魚 津 市 上 下 水 道 局			



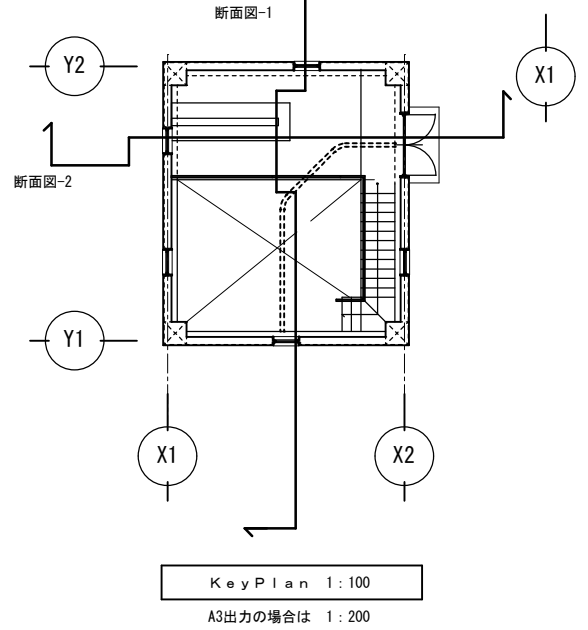
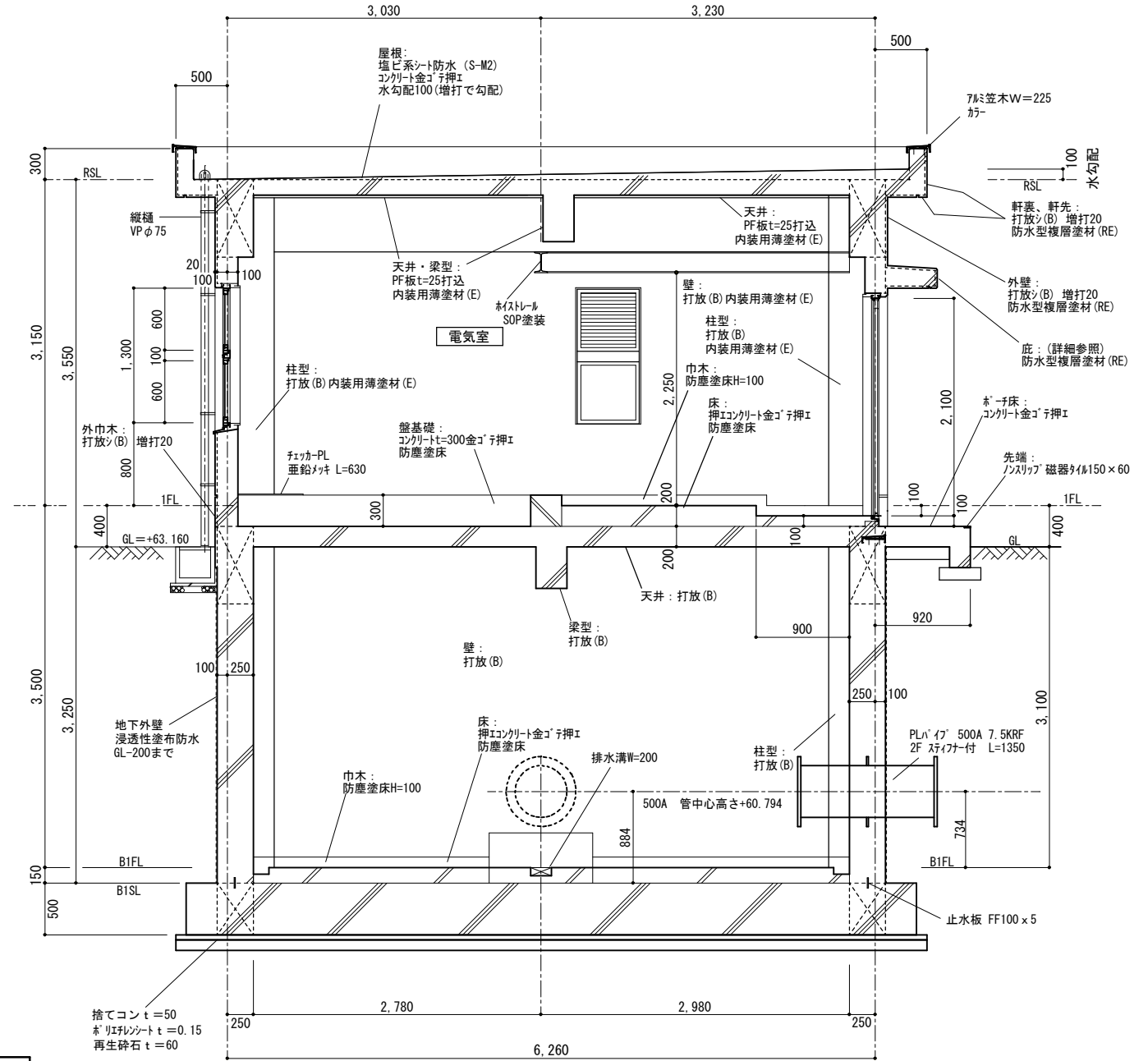
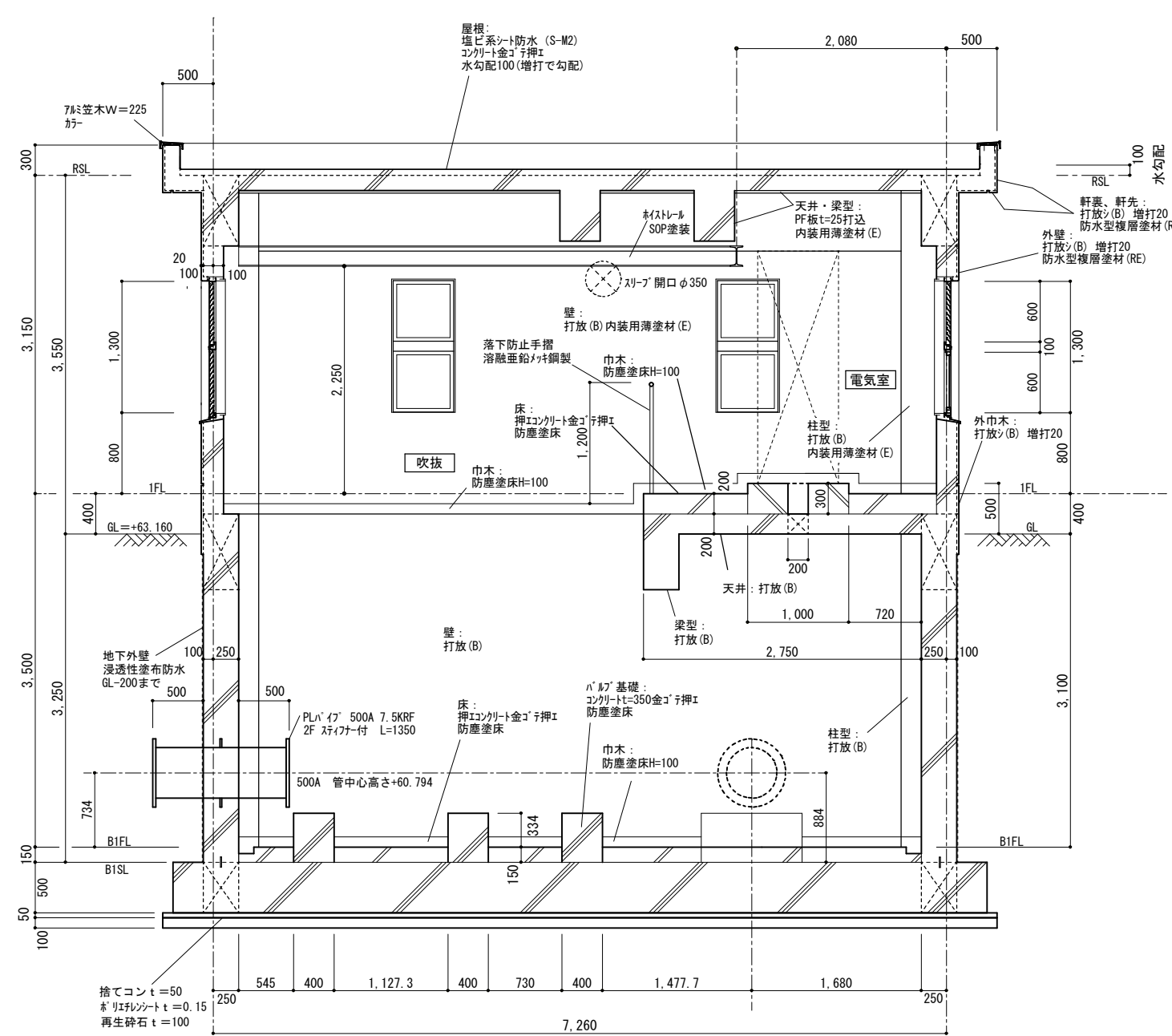
凡例 (B1階)

- 柱、梁出隅 内部 柱、梁、壁の出隅部には10×10の面木のこと
- 基準レベル B1FLを±0とする
- 防塵塗床 珪藻土防塵塗床とする
- 押えコンクリート 溶接金網φ6 100×100施工のこと

凡例 (1階)

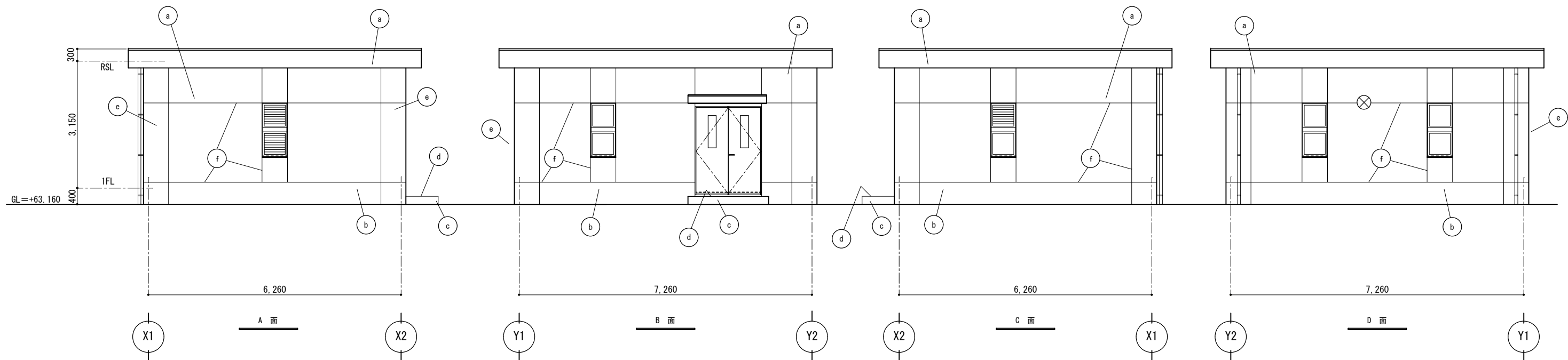
- 柱、梁出隅 内部 柱、梁、壁の出隅部には10×10の面木のこと
- 基準レベル FLを±0とする
- 防塵塗床 珪藻土防塵塗床とする
- 押えコンクリート 溶接金網φ6 100×100施工のこと

工事名	六郎丸低区配水池築造工事		
工事箇所	魚津市 六郎丸 地内		
図面名	緊急遮断弁室一般図 (平面詳細図)		
年月日	平成 26 年 3 月		
尺度	図示	図面番号	13 葉之内 3
魚津市上下水道局			



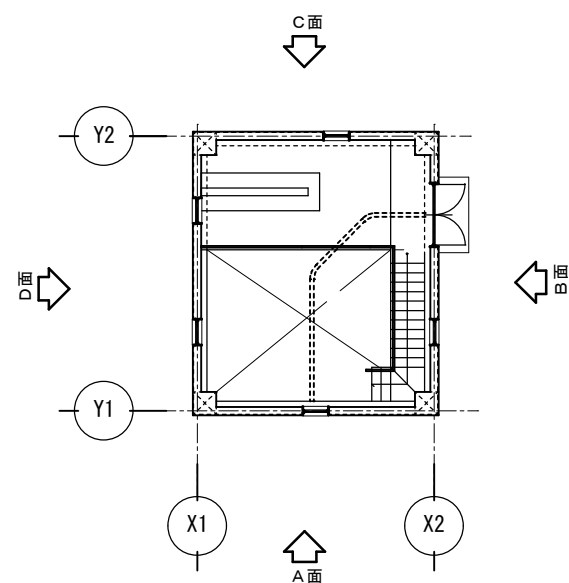
※敷地造成工事：掘削面GL+61.942m
土工事は、GL+61.942mより下部を建築工事とする

工 事 名	六郎丸低区配水池築造工事		
工事箇所	魚津市 六郎丸 地内		
図 面 名	緊急遮断弁室一般図 (矩計図)		
年 月 日	平成 26 年 3 月		
尺 度	図 示	図面番号	13葉之内 4
魚 津 市 上 下 水 道 局			



立面図 1:50

A3出力の場合は 1:100

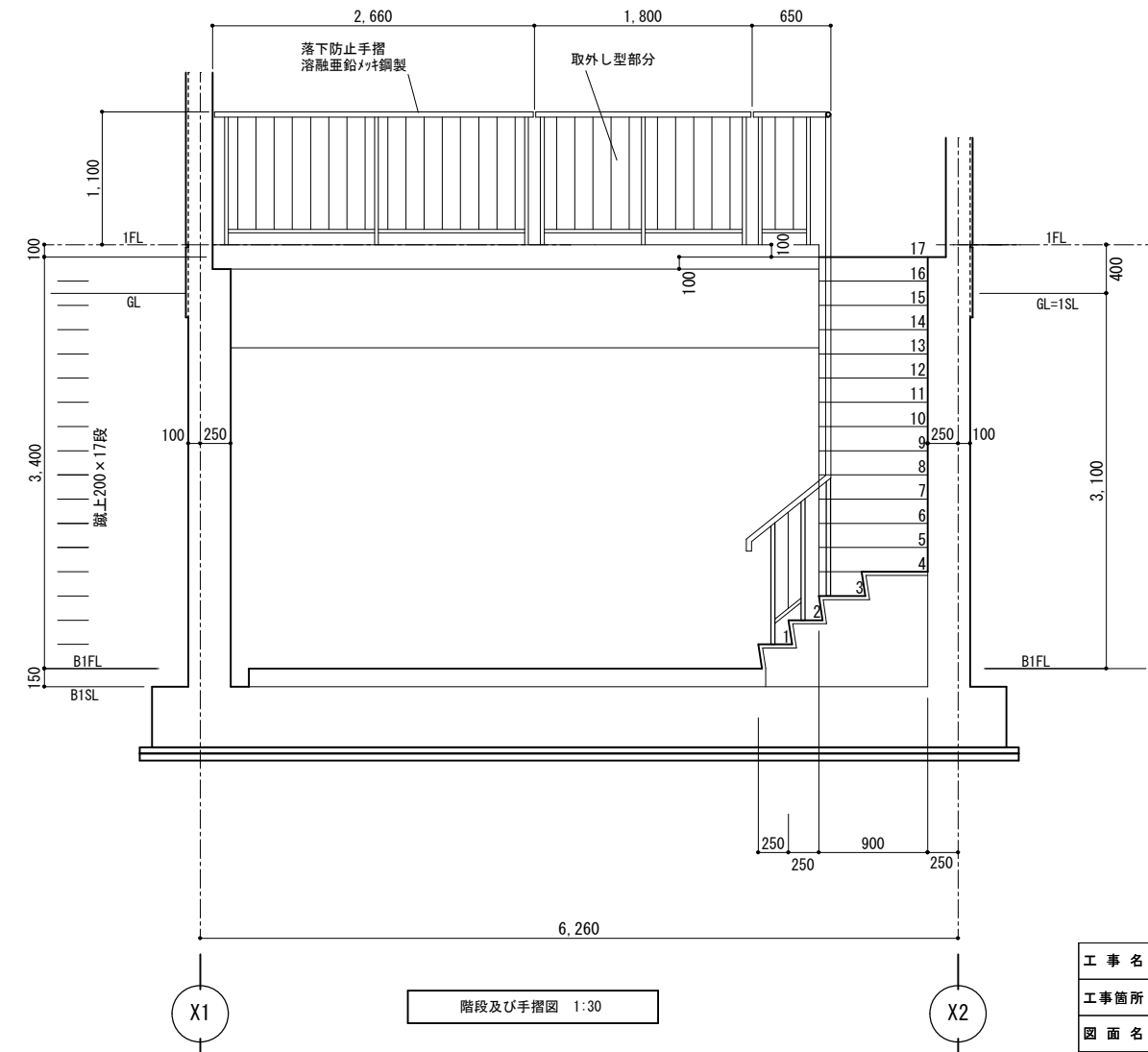
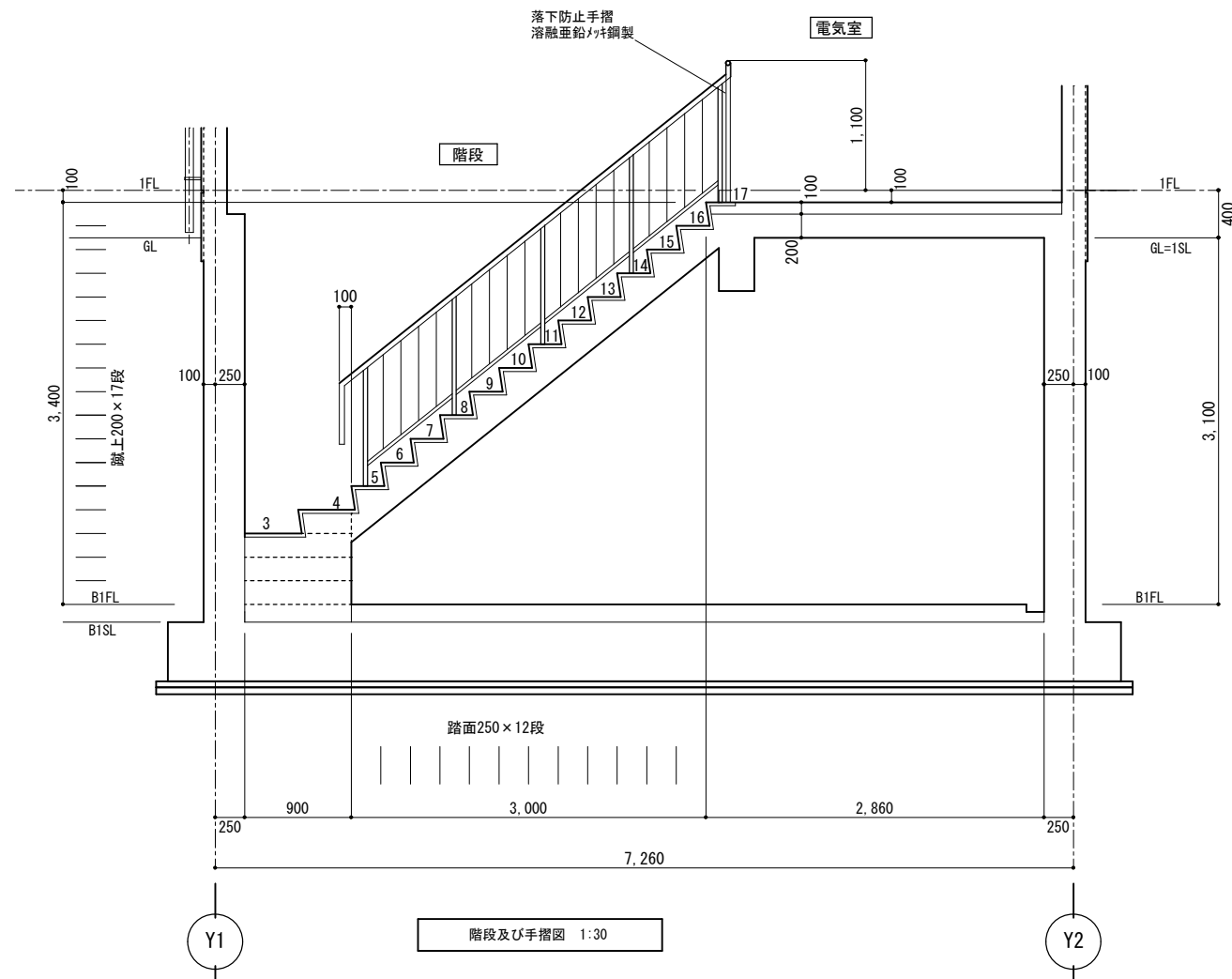
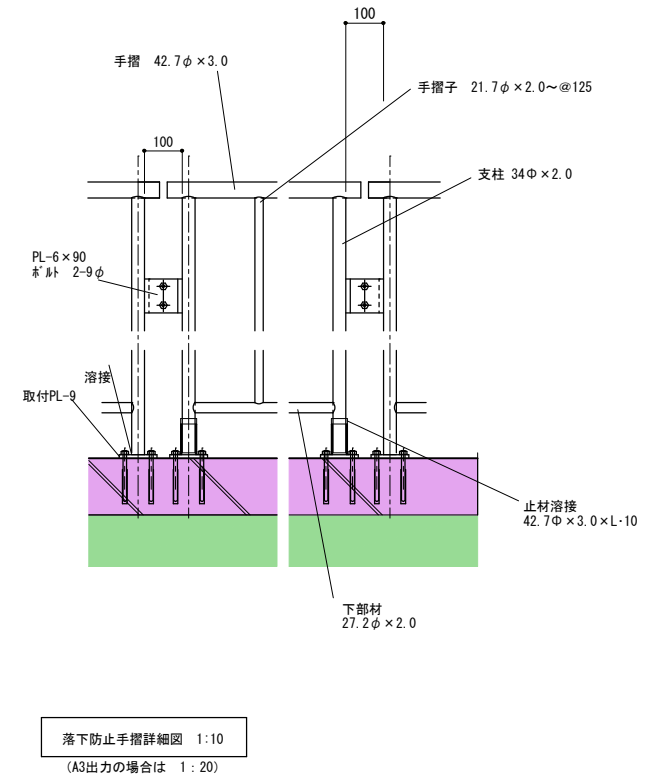
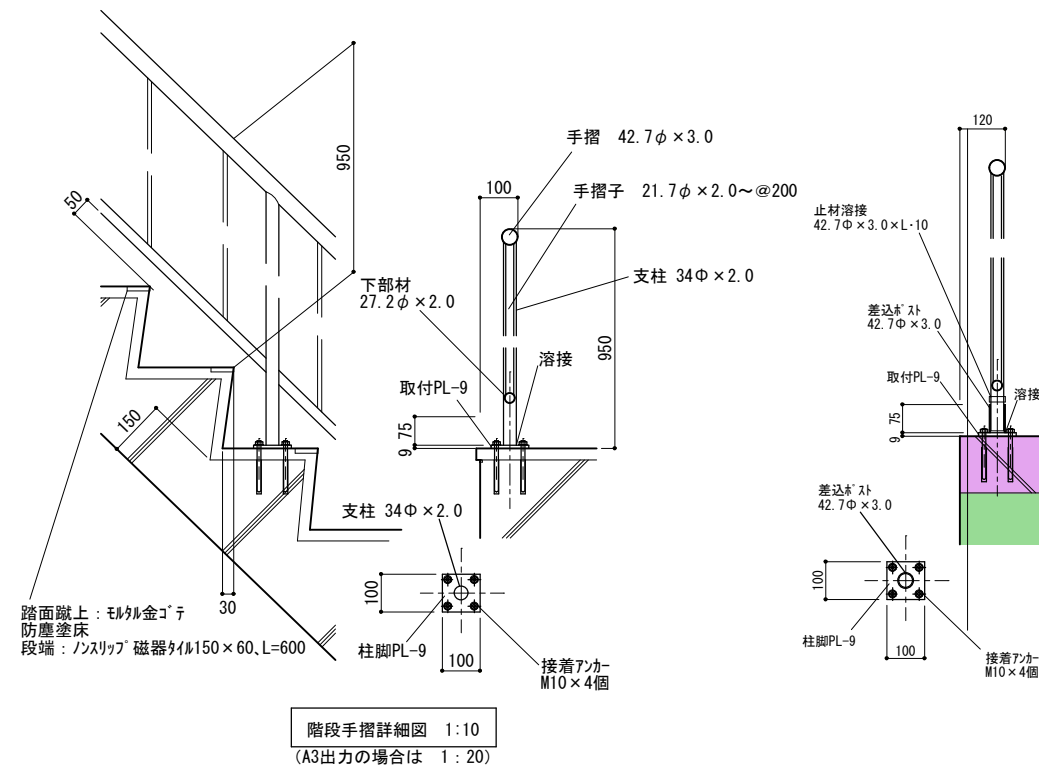
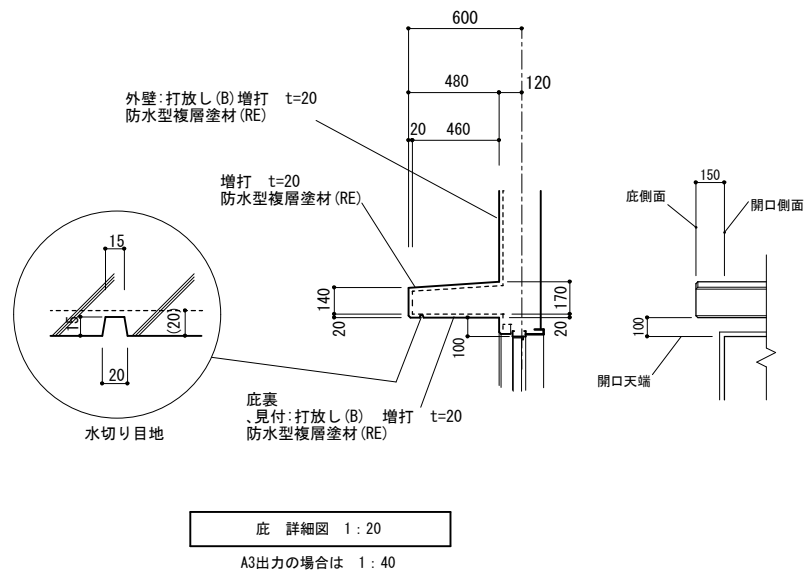


立面方向図 1:100

A3出力の場合は 1:200

立面仕上	
a	コンクリート打放し (B) 増打20の上複層塗材 (RE)
b	外部巾木: コンクリート打放し (B) 増打20 H=550
c	コンクリート打放し (B)
d	コンクリート金ゴ 75押E
e	好樋:塩ビ 75φ
f	打継目地、化粧目地 PU-2 20 x 10

工 事 名	六郎丸低区配水池築造工事		
工事箇所	魚津市 六郎丸 地内		
図 面 名	緊急遮断弁室一般図 (立面図)		
年 月 日	平成 26 年 3 月		
尺 度	図 示	図面番号	13葉之内 5
魚 津 市 上 下 水 道 局			

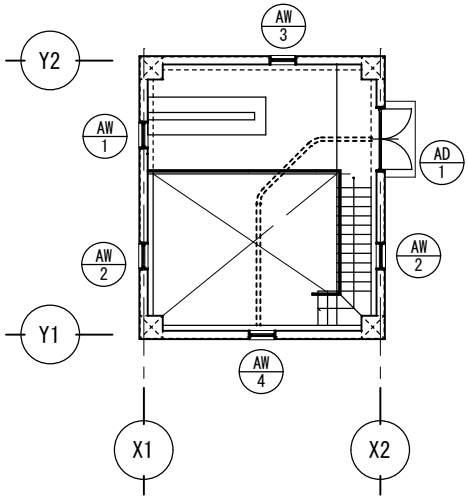


工事名	六郎丸低区配水池築造工事		
工事箇所	魚津市 六郎丸 地内		
図面名	緊急遮断弁室一般図 (部分詳細図)		
年月日	平成 26 年 3 月		
尺度	図示	図面番号	13葉之内 6

魚津市上下水道局

建具表 1:50 A3出力の場合は1:100

記 号	AD-1 電気室入口	AW-1 電気室、吹抜、階段室	AW-2 電気室、吹抜、階段室	AW-3 電気室	AW-4 吹抜
姿 図 1:50 A3出力の場合は 1:100					
型 式 個 数	両開きアルミフラッシュドア 1ヶ所	横スベリ出しアルミサッシ 1ヶ所	横スベリ出しアルミサッシ 2ヶ所	ガラスランサ付横スベリ出しアルミサッシ 1ヶ所	ガラス 1ヶ所
材 料 仕 上	アルミカラー (B-2)	アルミカラー (B-2)	アルミカラー (B-2)	アルミカラー (B-2)	アルミカラー (B-2)
付 属 金 物	CL、DC、丁番、フラス落し、LH	一式、水切	一式、オベレータ、水切	一式、水切	一式、水切
把 手 引 手	レバーハンドル型錠				
見 込	枠70	枠70	枠70	枠70	枠70
硝 子	NF-6.8	NF-6.8	NF-6.8	NF-6.8	-
備 考	下枠:ステンレス 額窓付 額縁	額縁	額縁	ガラス部にステンレス製防虫網 額縁	ガラス部にステンレス製防虫網 額縁



建具配置図 1:100

A3出力の場合は 1:200

建 具 凡 例	
F	型板ガラス
FL	フロート板ガラス
NF	網入型板ガラス
NP	網入磨き板ガラス
DC	ドアクロザー
CL錠	シンダ-本締錠
CL錠(表示)	シンダ-本締表示錠
共 通 事 項	
資 摺	ステンレス製品
その他付属品	ステンレス製品

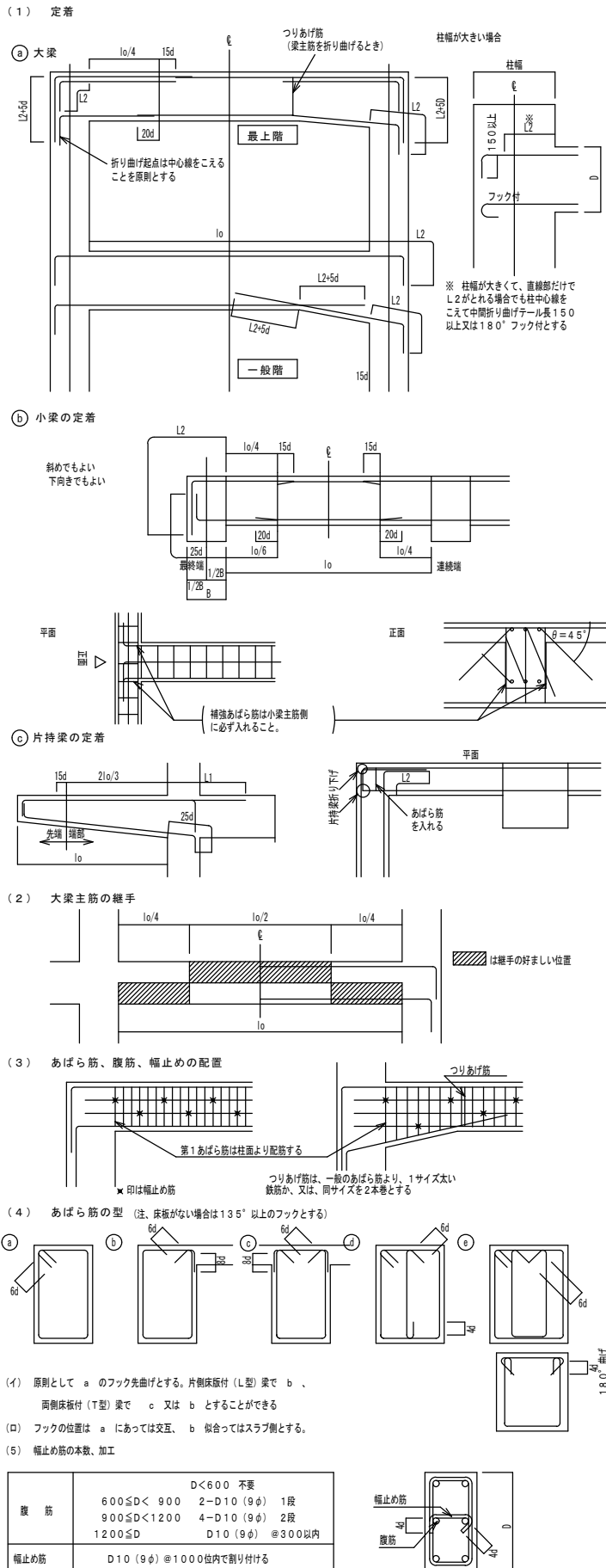
工 事 名	六郎丸低区配水池築造工事		
工事箇所	魚津市 六郎丸 地内		
図 面 名	緊急遮断弁室一般図 (建具表)		
年 月 日	平成 26 年 3 月		
尺 度	図 示	図面番号	13葉之内 7
魚 津 市 上 下 水 道 局			

工 事 名	六郎丸低区配水池築造工事		
工事箇所	魚津市 六郎丸 地内		
図 面 名	緊急遮断弁室一般図 (鉄筋コンクリート構造標準配筋図 (1))		
年 月 日	平成 26 年 3 月		
尺 度	図 示	図面番号	13葉之内 8
魚津市上下水道局			

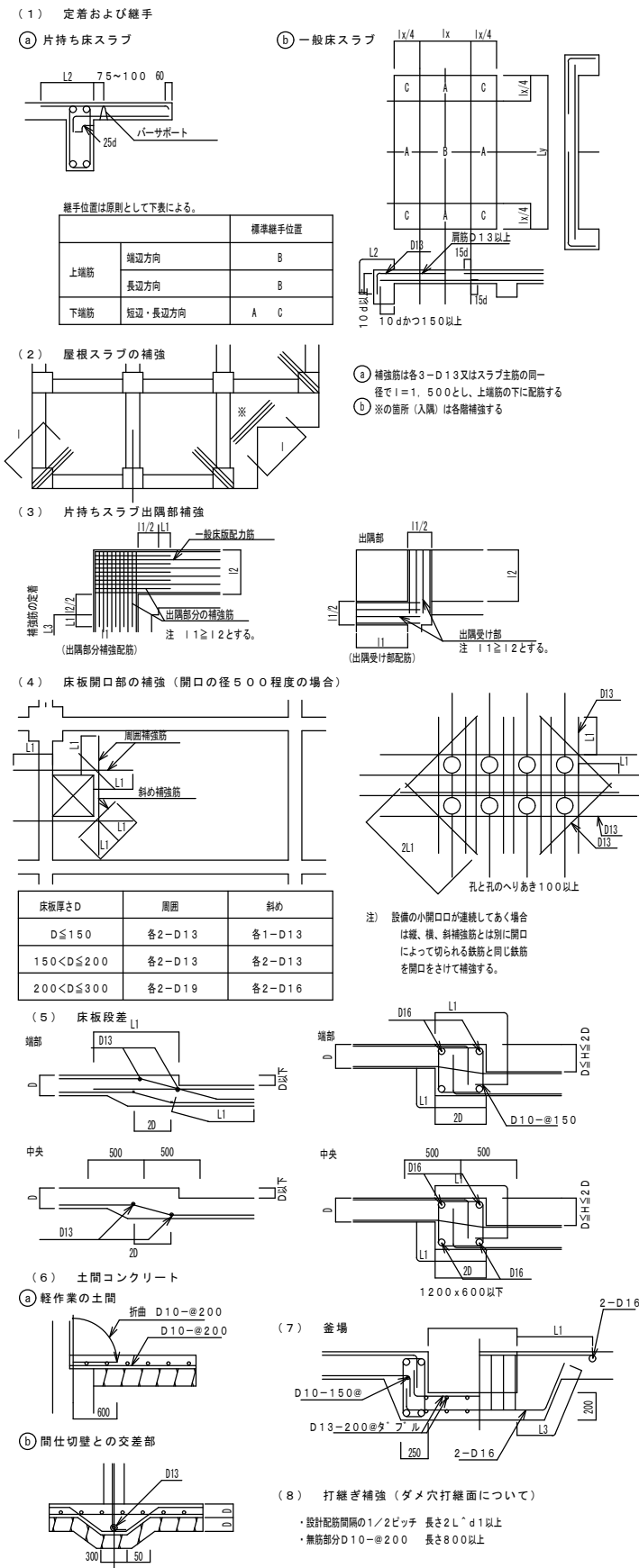
鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (2)

L=鉄筋コンクリート構造配筋
標準図 (1) の2~(3) による。

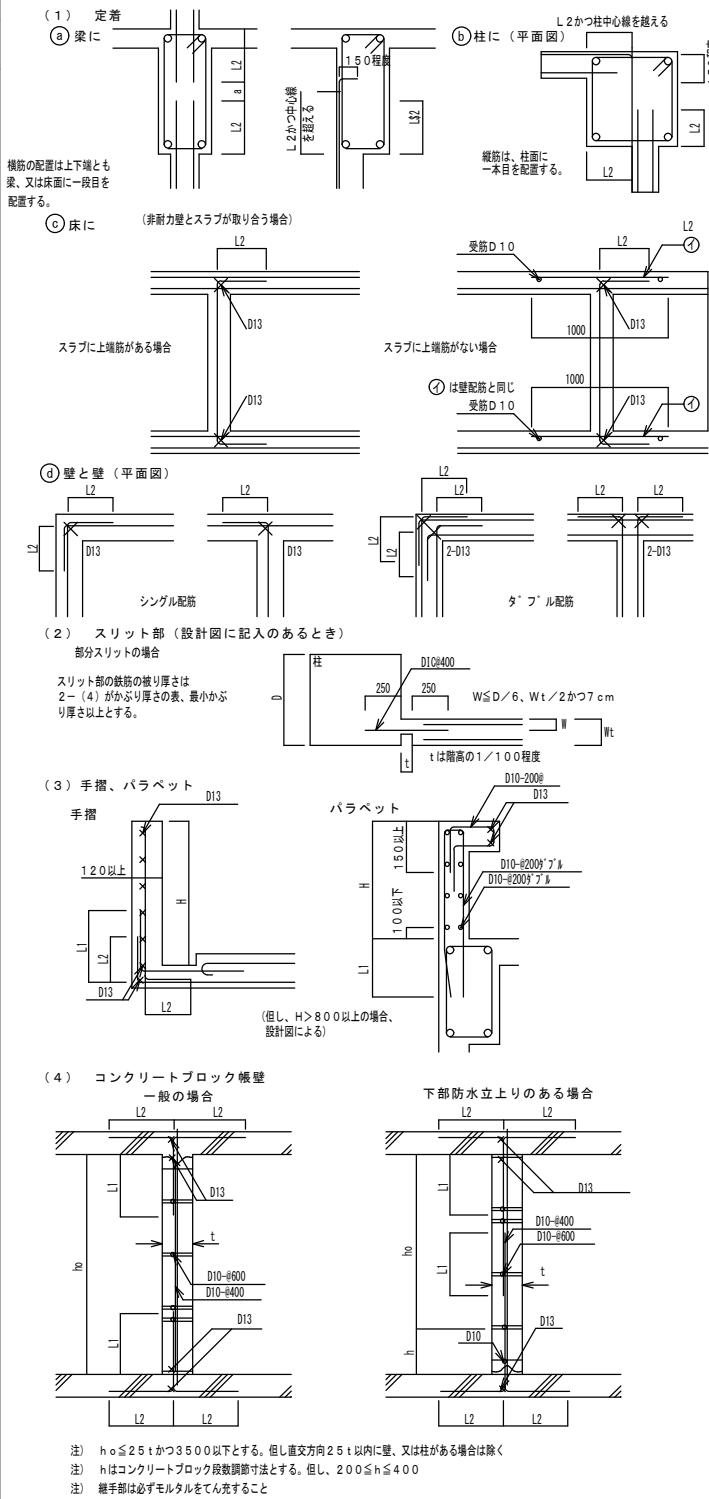
7. 大梁、小梁、片持梁



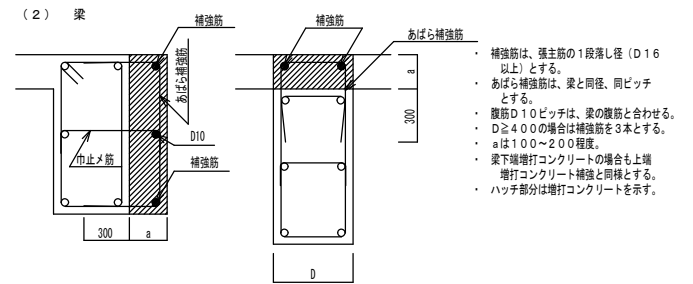
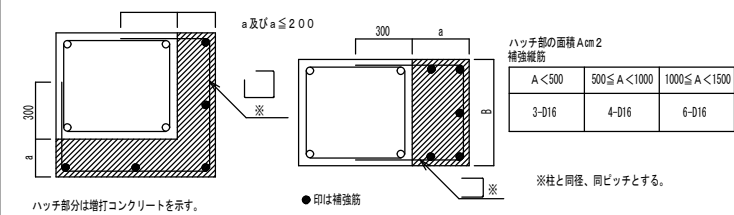
8. 床版



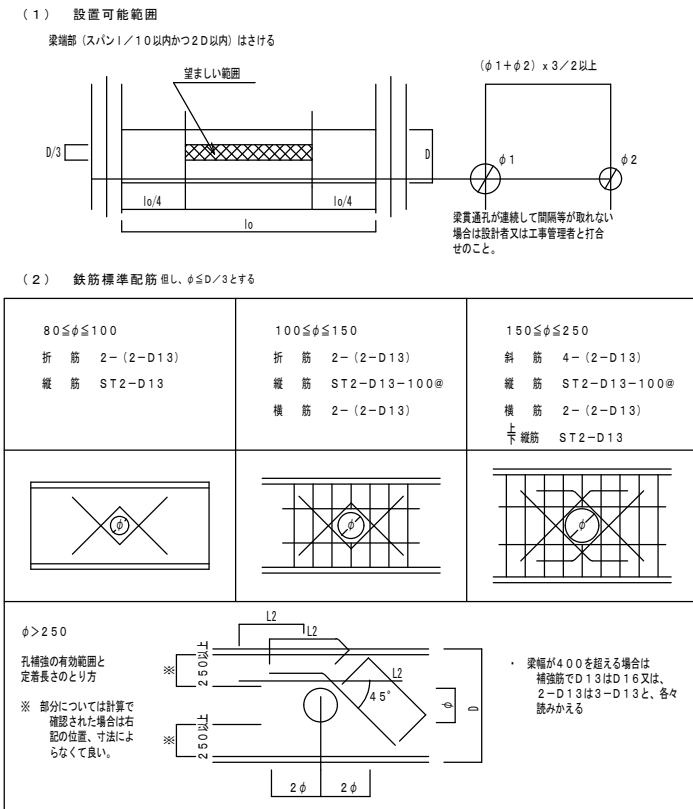
9. 壁



10. 柱、梁増打コンクリート補強 (増打するときは事前に設計者、及び工事監理者と打ち合わせのこと)



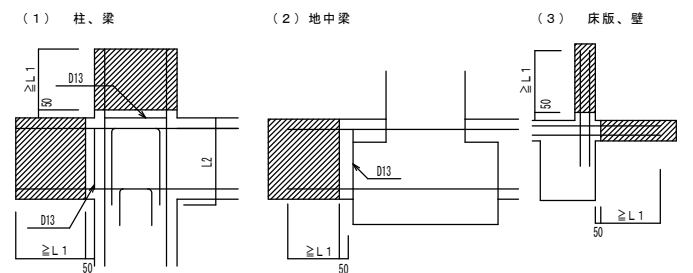
11. 梁貫通孔補強



(3) 既製品 (使用するとき、設計者又は工事管理者と打合せのこと)

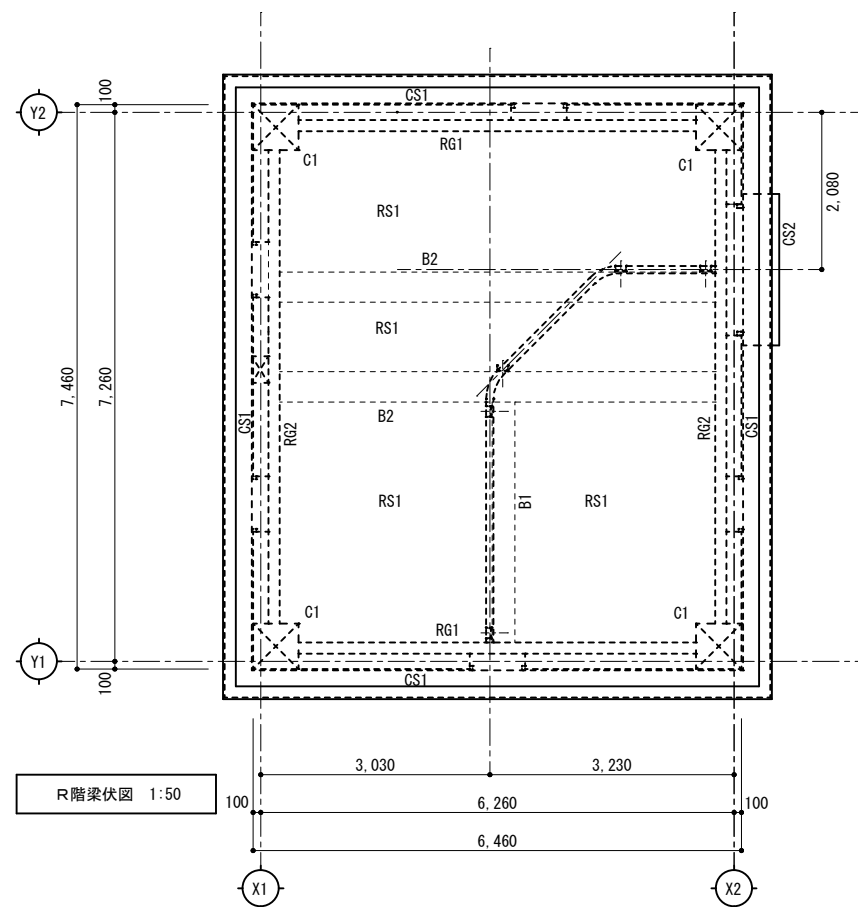
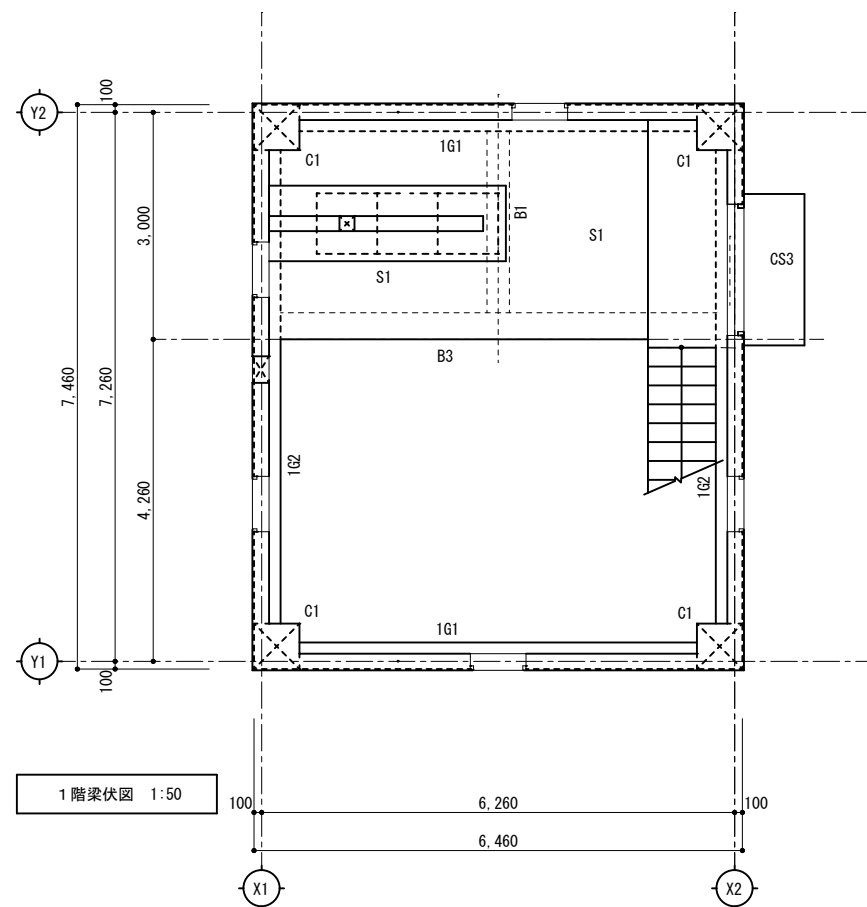
□ リング型 □ バイ型 □ 金網型 □ プレート型

12. 増築予定 (将来増築予定のコンクリート間仕打ち部分は、増築時の鉄筋継手工事を考慮して配置する)



工事名	六郎丸低区配水池築造工事
工事箇所	魚津市 六郎丸 地内
図面名	緊急遮断弁室一般図 (鉄筋コンクリート構造標準配筋図 (2))
年月日	平成 26 年 3 月
尺度	図示
図面番号	13葉之内 9

魚津市上下水道局

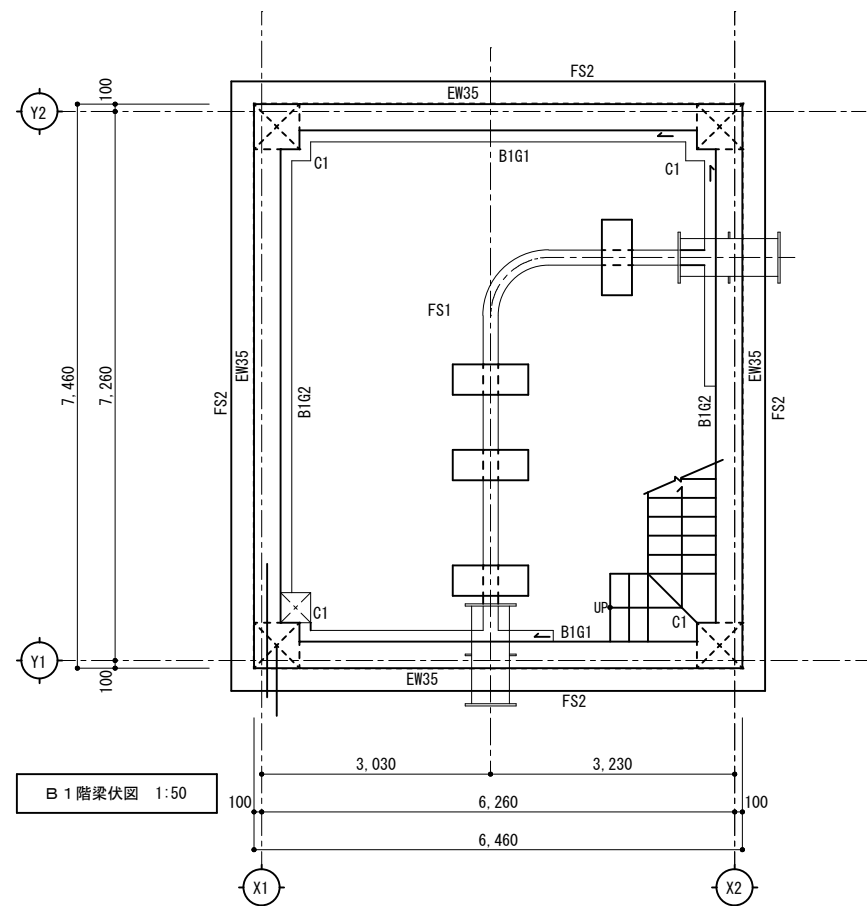


使用材料

○コンクリート
1F床～R F床 : $F_c = 21 \text{ N/mm}^2$
地階床～1F床 : $F_c = 21 \text{ N/mm}^2$

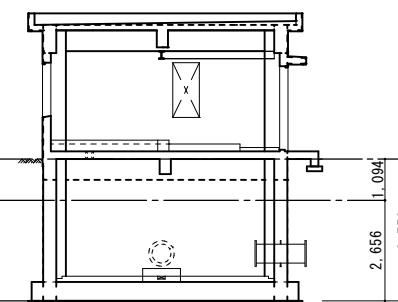
○鉄筋
D10～D16 : SD295A : 地階～R階
D19～D25 : SD345 : 地階～R階

○直接基礎 (べた基礎)
支持地盤 : 玉石混じり砂礫層 (GL-3.750m近辺)
: GL-3.75m (基礎底)
許容支持力度 : 基礎底、100kN/m² (長期)

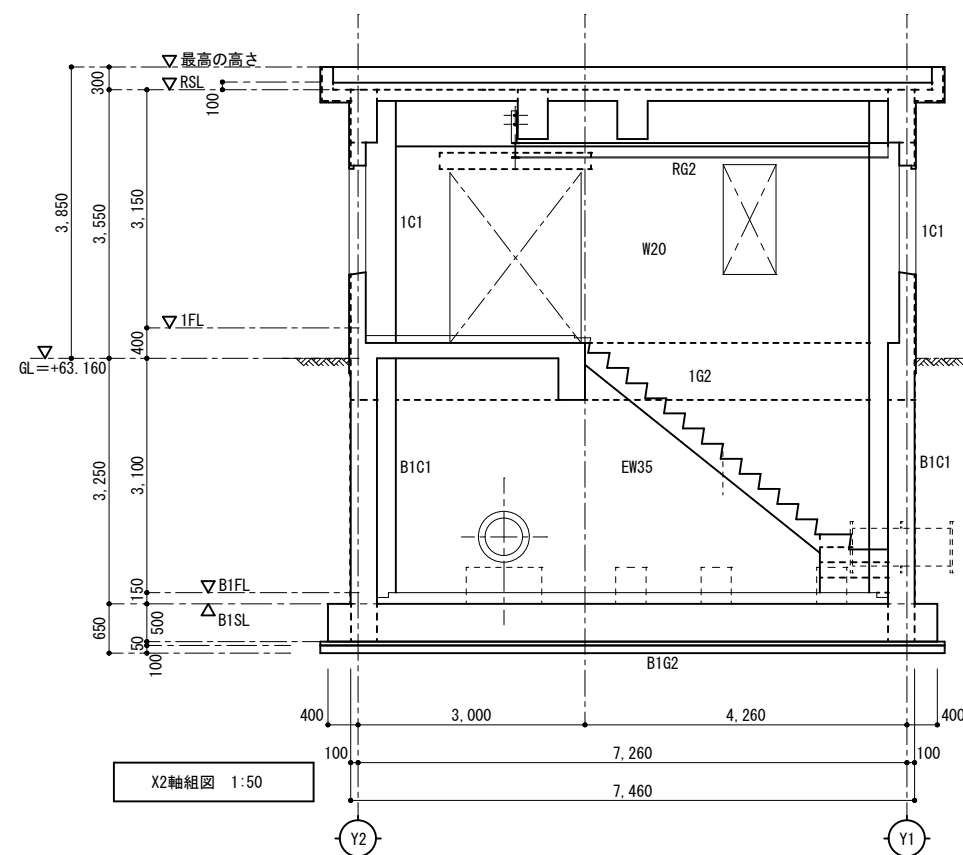
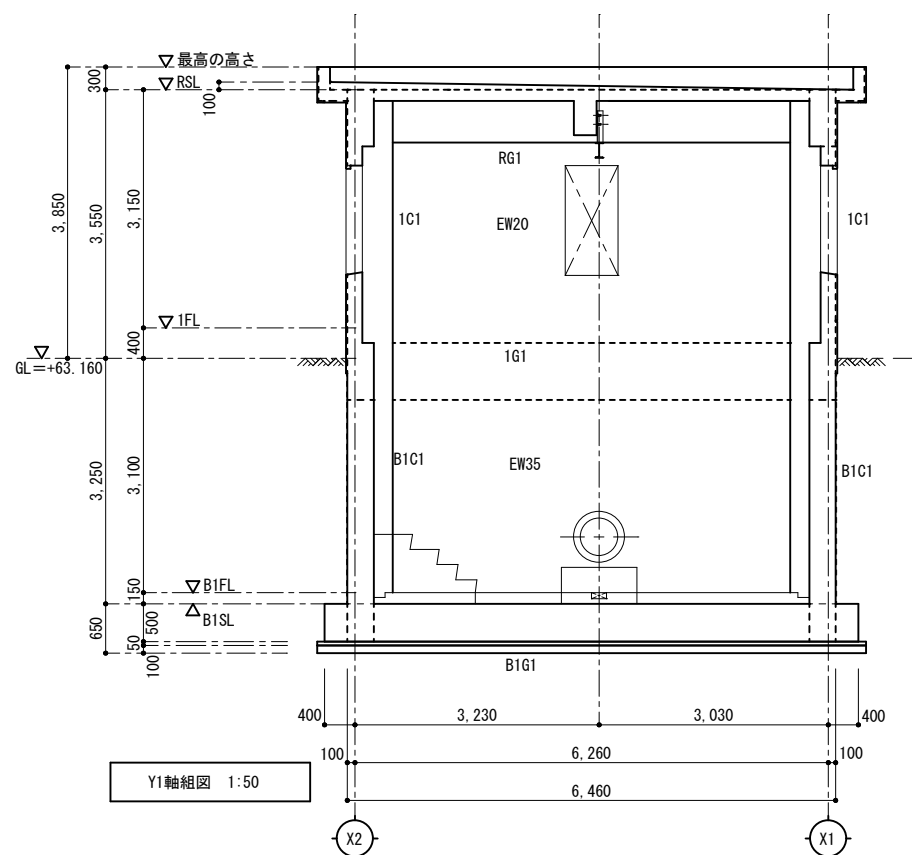
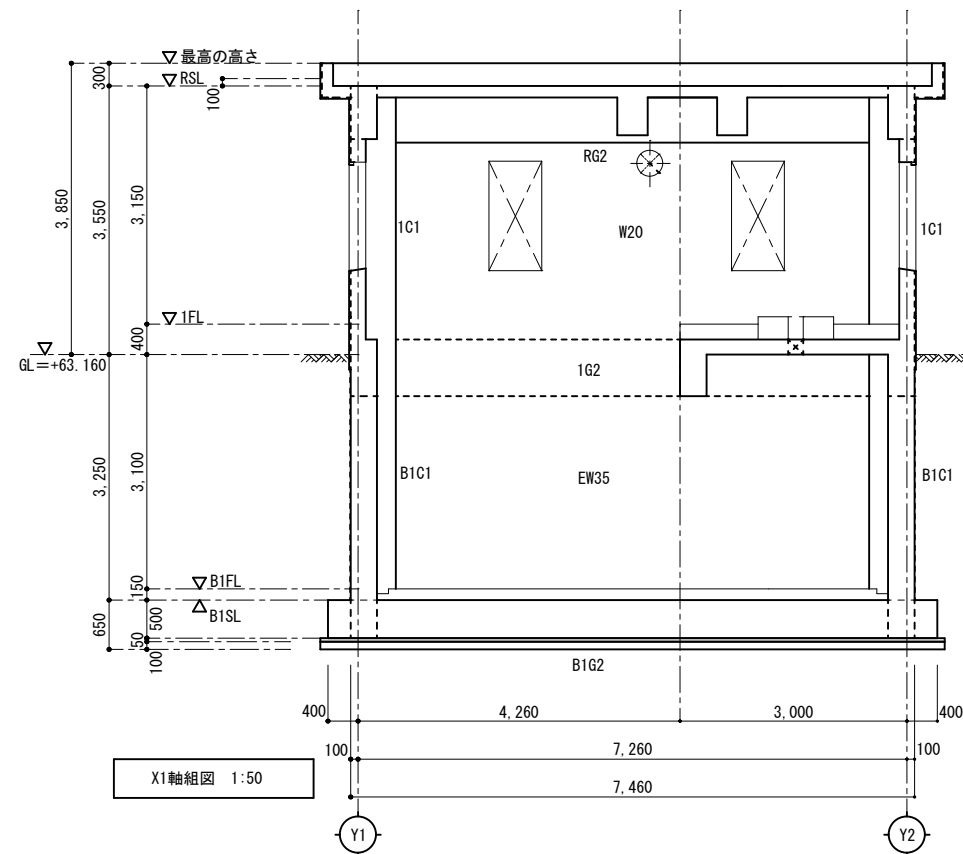
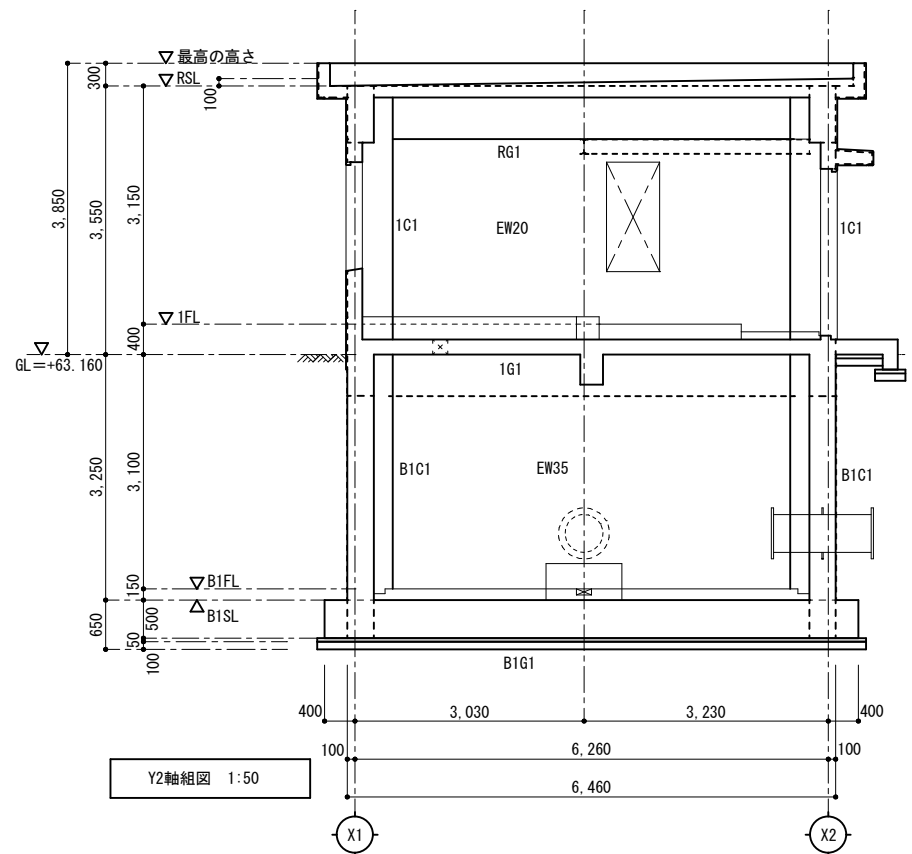


ボーリング孔 No.1

標尺	層厚	深度	土質区分	N 値	
(m)	(m)	(m)			
			+62.20m	0	10
1	0.20	0.20	表土	250	30
2				31	40
3				500	50
4				54	60
5	4.80	5.00	玉石混じり砂礫	91	
6					
7					
8					
9					
10					



工事名	六郎丸低区配水池築造工事		
工事箇所	魚津市 六郎丸 地内		
図面名	緊急遮断弁室一般図 (伏図)		
年月日	平成 26 年 3 月		
尺度	図示	図面番号	13葉之内 10
魚津市上下水道局			



工 事 名	六郎丸低区配水池築造工事		
工事箇所	魚津市 六郎丸 地内		
図 面 名	緊急遮断弁室一般図 (軸組図)		
年 月 日	平成 26 年 3 月		
尺 度	図 示	図面番号	13葉之内 11
魚 津 市 上 下 水 道 局			

大 梁 断 面 リ ス ト S=1/30

※ D16以上の腹筋は壁筋と同等の定着とする。
特記なき場合 1. 巾止^ノ筋 D10-@1000

符 号	RG1		RG2	
	端部	中央	端部	中央
R 階				
B × D	350 × 700		350 × 750	
上端筋	3-D22	3-D22	4/2-D22	4/2-D22
下端筋	3-D22	3-D22	4-D22	4-D22
肋 筋	□-D13@200		□-D13@200	
腹 筋	4-D10		4-D10	
符 号	1G1		1G2	
	端部	中央	端部	中央
1 階				
B × D	350 × 750		350 × 750	
上端筋	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22
下端筋	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22
肋 筋	□-D16@200		□-D16@200	
腹 筋	4-D16		4-D16	
符 号	B1G1		B1G2	
	端部	中央	端部	中央
B1階				
B × D	350 × 500		350 × 500	
上端筋	2-D25	2-D25	2-D25	2-D25
下端筋	2-D25	2-D25	2-D25	2-D25
肋 筋	□-D13@200		□-D13@200	
腹 筋				

小 梁 断 面 リ ス ト S=1/30

特記なき場合 1. 巾止^ノ筋 D10-@1000

符 号	B1	B2		B3	
	全断面	端部	中央	端部	中央
B × D	300 × 600	400 × 650		350 × 750	
上端筋	3-D22	4-D25	4-D25	3-D25	3-D25
下端筋	3-D22	4-D25	4/2-D25	3-D25	3/2-D25
肋 筋	□-D10@200	□-D13@200		□-D13@200	
腹 筋	2-D10	2-D10		4-D13	

柱 断 面 リ ス ト S=1/30

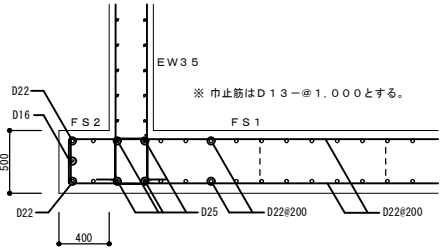
特記なき場合 1. H00P(仕口内):D10-@150

符 号	1C1	B1C1	
	C は寄筋を示す。		
B × D	550 × 550	550 × 550	
主 筋	18-D22	18-D22	
H00P	□-D13@100	□-D13@100	

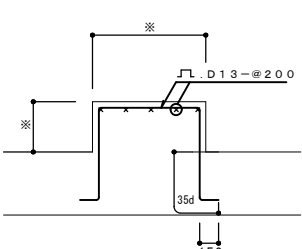
壁 リ ス ト ※ 鉄筋の継手はすべて重ね継手(40d)とする。巾止筋はD10-@1,000とする。

符 号	壁 厚	位 置	縦 筋	横 筋	開口部補強筋		曲げ補強筋		備 考
					縦・横 筋	斜め 筋	交 差 部	端 部	
W20	200	外 側	D10-@150	D10-@150	2×2-D13	2×2-D13	4-D13	2-D13	
EW20		内 側	D10-@150	D10-@150					
EW35	350	外 側	D16-@200	D16-@200	2×2-D19	2×2-D19	4-D19		
		内 側	D16-@200	D16-@200					

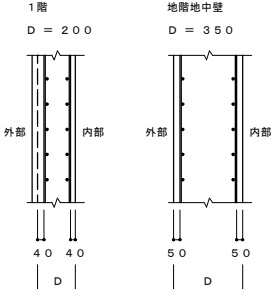
底板配筋詳細図 S=1/30



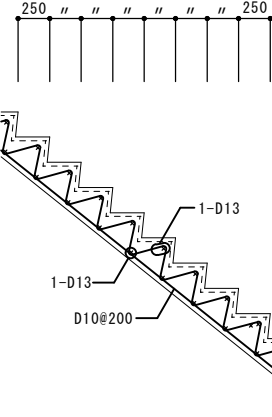
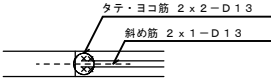
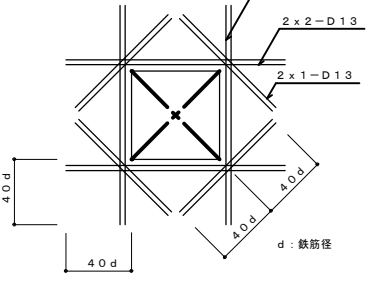
機械基礎配筋要領図 S=1/30



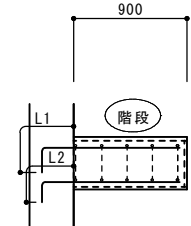
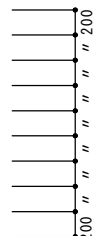
壁鉄筋かぶり厚標準図



壁開口部補強要領(W20)



階段配筋詳細図 S=1/30



使用鉄筋

D10~D16 SD295A
D19~D25 SD345

◇ 定着長

特記なき限り平成16年度 公共建築工事標準仕様書(公共建築協会)を参照する事。

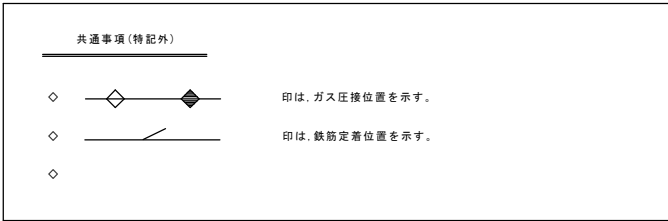
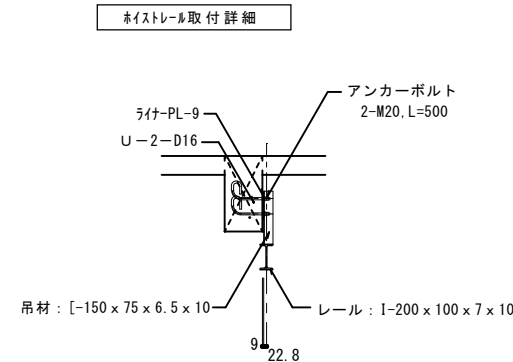
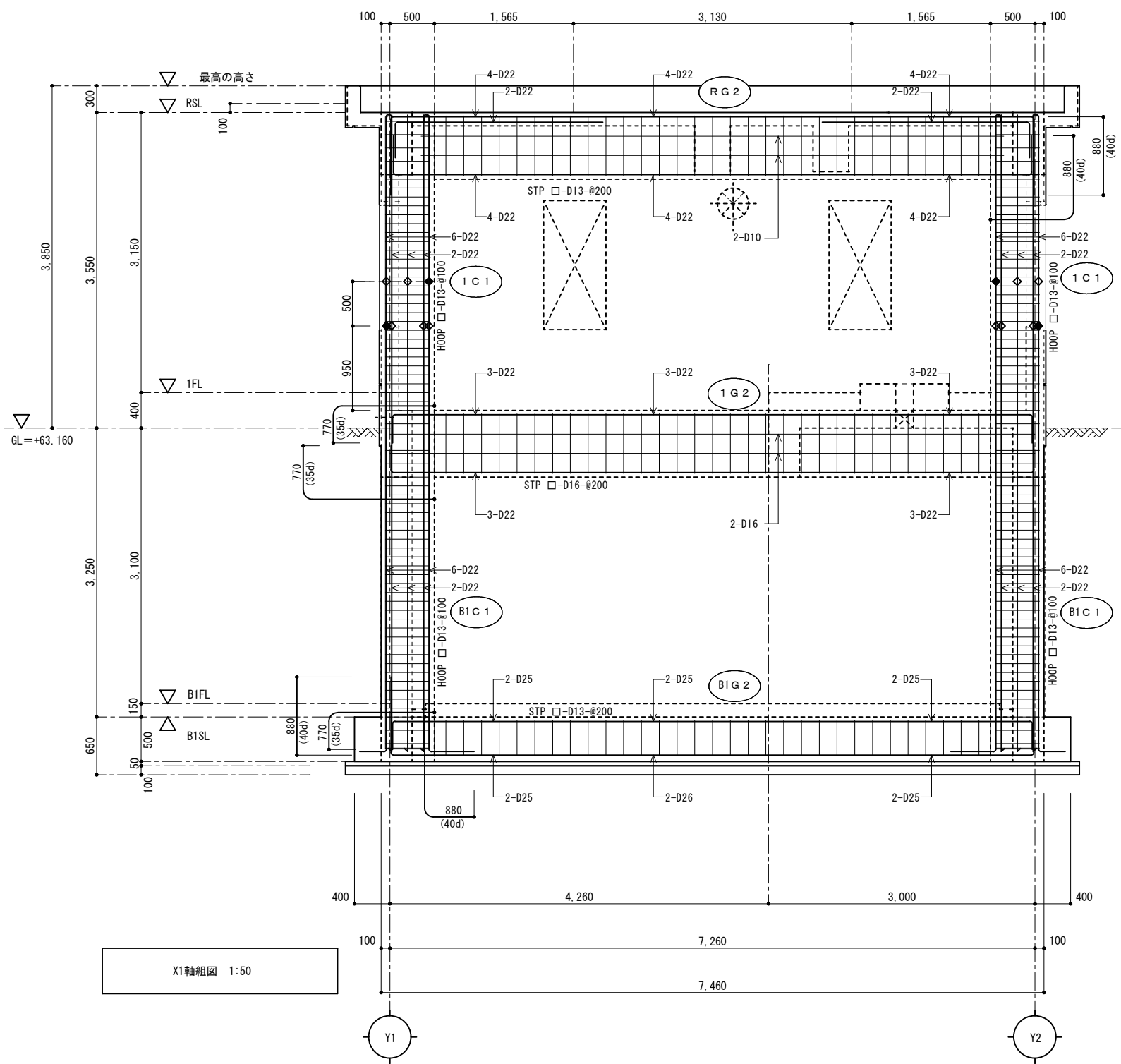
◇ 表示記号

記号	・	×	ノ	・	・	・
異形鉄筋	D10	D13	D16	D19	D22	D25

◇ 鉄筋の継ぎ手

重ね継ぎ手を標準とする。ただし、D19以上は圧接継ぎ手とする。

工 事 名	六郎丸低区配水池築造工事		
工事箇所	魚津市 六郎丸 地内		
図 面 名	緊急遮断弁室一般図 (部材リスト)		
年 月 日	平成 26 年 3 月		
尺 度	図 示	図面番号	13葉之内 12
魚 津 市 上 下 水 道 局			



工 事 名	六郎丸低区配水池築造工事		
工事箇所	魚津市 六郎丸 地内		
図 面 名	緊急遮断弁室一般図 (ラーメン配筋図)		
年 月 日	平成 26 年 3 月		
尺 度	図 示	図面番号	13葉之内 13
魚 津 市 上 下 水 道 局			